小川ゆうた特別党員による、ザ・選挙〜葛飾区議会議員選挙を戦って〜

質疑応答、意見交換（*斜体文字*は他の方の発言）

Q:政治家になろうと思ったのは何がきっかけでしたか

A: 数年前まで政治に興味や関心がありませんでした。選挙に行ったことも数えるほどでしたし、誰が私たちの代表として議員活動をしているのかも知りませんでした。そんな政治に関心を持つキッカケになったのは、選挙を手伝っていた宮本舜馬荒川区議が当選し、議会活動の内容を知った事でした。「政治」というザックリとしたイメージが、友人でもある宮本区議の活動を通じて明確な印象に変わったことを今でも覚えています。私自身が強く感じている今の政治や国政政党に期待を出来ない部分を変えていきたいから。

Q:自身が政治家に向いていると思った理由は

A:政治活動を始めて1年3ヶ月ですが、この活動の中で人の役に立てることに深く喜びを感じたのと困っている人を見捨てておけないから。

Q：政治家になりたいと話をして、周りの方は何といわれましたか

A:当時会社に7年勤めていたので家族には猛反対されましたが、必ず当選する旨を伝えて何とか了承をもらいました

Q:政治家になるためにどんな勉強をされましたか

A:現在の葛飾区の課題や今後未来の葛飾区にとって必要になることを勉強しました。

Q:勉強する中で、特に興味を持ったのはどんなことですか

A:他の区にも遅れをとっている猫の不妊去勢手術の助成について。早急に進めるべき課題であると認識しました

Q:区で問題となっているテーマについて、賛成か反対かの意見を求められることがあったのでは？

A:よくわからない点については明確な回答はしなかった。

Q:都議選を経て、区議選に立候補、当選されましたが、都議選に立候補された理由は？

A:小池知事の政党である都民ファーストの会が小池都政に対する十分なチェック機能を発揮出来ているとは思えなかったため。

Q:男性、未婚の候補者は多いので、目立たないということもあり、キャラ立ちをさせる上で何か工夫した点はありますか

A:駅頭では笑顔で挨拶することを重視してやっていたが、反応が良かったと思う。

*選挙ポスターに猫と赤ちゃんを入れた写真を使った。どういうことに取り組んでいたか目でわかるようにした。*

Q:選挙活動で力を入れたのはどんなことか

A:マイクで話すのが苦手だった（通して30分もマイクを握っていない）のですが、それよりも区民の方々と1人でも多く対話することを心掛けていました。

Q:手ごたえはどうだったか、伝わったこと、うまく伝わらなかったこと？

A:手応えはありましたが、マイクで話すことには慣れていなかったので次回への課題です。

Q:選挙活動で気をつけたことはどんなことか

A:休憩中でもすれ違う人には必ずご挨拶することを心掛けていました。

Q:応援してくれたのはどんな方々か、どんな形か

A：選挙の１年半前に亀有から金町に引っ越したこともあり、地元に地盤も看板も無かったが、去年９月の活動初期から駅で見掛けてくださった方々や地域猫活動をされている方々には応援いただいていたと思います。個別訪問をしていると、駅に行かない人が多く、あまり知られていなかった。個別訪問が一番大事だと思った。ネットでは１０件足らずだが、直接の問い合わせがあり、応援してくれた人もいた。

Q:何が一番当選に結び付いたと思うか

A:ギリギリの当選だったので選挙中のあたらしい党の方々のご支援なしでは当選出来なかったと思います。

Q:もっとこうすれば良かったと思うことは

A:葛飾区では難しいのですが、選挙中の駅に立つなど目立つ時間をもう少し増やせたら良かったと思っています。

Q:政治活動にはどれくらいの時間をかかえたか、お金はどのくらいかかったか

A: ポスター　500ヶ所掲示

駅頭での活動　1000時間

個別訪問世帯数　3000件

お金は250万円は使ったと思います。都議選の供託金６０万円は戻ってきた。ポスティングが６０万から７０万円*（普通は区議選で３００万円とか言われているので、少なかった。区議選だけでは１００万円から１５０万円）*。

Q:どれくらいの活動期間がベストだと思うか。

A:*初めての方は最低１年半。現職は半年前から。*

Q:無所属で新人の方は駅頭でお困りごとを受けたとき、どうされているか。

A:１区民として役所に相談するケース、当選したら動くと伝えるケースがあった。

Q:ネットを調べても、個別訪問や選挙カーのノウハウがわからない。
A:議員の方にアドバイスを受けた。駅頭や戸別訪問で評判の良かったエリアを中心に活動した。５時半くらいから９時まで駅頭に立って、休憩、食事をして、午後１時くらいから５時まで個別訪問をして、５時半から８時くらいまで駅頭に立った。コロナが落ち着いてからは９時くらいまで。*都議選で反応の悪かった地域に選挙カーを回した。*

Q:活動費が安くついた理由は？

A:ポスティングを１０万部くらい自分たちでやっていた。業者に頼むと１枚５円とかかかる。

Q:ポスターに「あたらしい選択肢」というキャッチフレーズを記載されていたのはどういう思いからか？

A:政党にはとらわれないという意味です。

Q:SNSの反応は？

A:ほかの候補者はフェイスブックを多く使われているが、ツイッターの方が目立つと思う。

Q:ポスター貼りは？

A:二連のポスターを貼ってくれる業者もあるが、使わなかった。二連ポスターは半年前からなので、それまでに貼った単独ポスターを貼り替えた。

Q:反応の良さはどうやって判断するか。

A:*頑張ってとの声掛けや差し入れ。選挙カーで手を振ってくれたり。*

Q:仕事をやめるタイミングは？

A:７月の都議選で３月にやめた。選挙に必要な金がたまったらやめてもいいのかなと思う。

Q:他の政党で公認が出るタイミングは？

A：バラバラです。選挙活動ではなく、政治活動とみなされるため、６か月前以降でも掲示できる二連ポスターは、演説会の告知になっていれば、政治家とではなくても誰との二連でも構わない。

Q:タワーマンションが活動の上でネックかと思うが、どうでしょうか。

A:タワーマンションは配れないので、居住者がよく利用するスーパーの前で配った*。タワーマンションと契約している業者もいるようなので、利用することも可能。*私は若い方を取り込む意味でもマンション中心にポスティングをやった。ポスティング禁止と書かれている場合を含めて。*マンションが集中しているエリアでは、自分で効率よくポスティングできるので、ポスティング業者に頼むのはもったいない。*戸建ての方は投票先が決まっているイメージがある。

選挙期間中しか配れないが、都議選のときは１６０００枚を配り切れないので、オリコミをかけた。*区議選は４０００枚のうち２０００枚。知名度の高い区域に限定してかけた。*

*オリコミは新聞を取っている世帯は少なくなったが、投票に行く確率が高いという話もある。*

*候補者が公費で送れる公選はがきは選管の名簿を利用して、タワーマンションに住んでいる１８歳１９歳の人にもアプローチした。１８歳の投票率は５０％くらいあるので、狙っていった方がいい。*

*意見：小川さんは応援したくなるような顔をされているので、駅頭のスピーチをあまりされなかったのは必ずしもマイナスといえないのではないか。この人には投票したくないと思わせるスピーチもある。チラシも中身が大事で、たくさんやればいいというものではないと思う。写真を大きくするなど、応援したくなるチラシがあると思う。ツイッターに動画へのリンクを貼って、言いたいことは動画でしっかり伝えるのはありだと思う。*

Q:葛飾区は広いが全エリアを回ったかどうか。

A:１３の駅すべての駅頭に立った。新*人なので、絞ったら当選できてなかったのではないか。*

*反応を見ていいところがあれば絞っていくやり方がいいと思う。*

*でもエリアが広い場合は、重点地域からはずすのもありだと思う。*

Ｑ：訴求対象がファミリー向けの場合には、単身者中心のマンションはポスティング対象からはずすのはありでしょうか。

*Ａ：ありだと思う。*

*意見：選挙活動はこうすればいいというものはなくて、受かった人の多くがやっていたことをまねるのがいいと思う。*